

地球

第四卷第二號

大正十四年八月一日發行

主要目次

圖版

第四版 但北地鷲——圓山川河口と田結の震害

第五版 スピッツベルゲンの海岸

東亞地質構造論から見た地震現象の説明(七)

理學博士 小川 琢 治

日本白堊紀三角介

理學博士 矢 部 長 克

砂岩中の化石帶

理學博士 井 上 禧 之 助

極地の群島スピツベルゲン

理學博士 夏 見 寬 治

世界に於ける魔術の分布(二)

文學士 寺 田 真 次

伯林日より(ペンク教授の近況)

文學士 鶴 岡 學 人

談 叢

中世風流踊の名殘

鶴 岡 學 人

講 話

朝鮮地名の考説(一)

理學士 中 村 新 太 郎

雜 報

新刊紹介

質疑應答

京 都 帝 國 大 學 理 學 部

地 質 學 教 室 內

地 球 學 團

第四卷第三號(九月號)豫告

東亞地質構造論から觀た地震現象の説明(下).....

理學博士

小川琢治

但北地震の物理學的研究.....

理學士

熊谷直一

(震源の深さ地震の全エネルギーの下限値)

和泉の砂岩層に就て.....

理學士

江原眞伍

古代四國の聚落に就て.....

文學士

小牧實繁

地球の化學成分に就て(アシントン).....

.....

.....

關東大震災と神戸港.....

.....

西龜正夫

地理教材としての地形圖(十四).....(加古川平野).....

.....

.....

談 叢

泰山の爬山虎.....

.....

如舟老人

講 話

朝鮮地名の考説(三).....

理學士

中村新太郎

雜 報

新刊紹介

質疑應答

地球

第四卷 第二號

地球

第四卷 第二號(八月號) 目次

圖版 第四版 但北地震——圓山川河口と田結の地震

第五版 スピツベルゲンの海岸

東亞地質構造論から觀た地震現象の説明(上)……………理學博士 小川 琢 治 (二三)

日本白堊紀三角介砂岩中の化石帶……………理學博士 矢 部 長 克 (二三)

極地の群島スピツベルゲン……………理學博士 井上禮之助 (二六)

世界に於ける魔術の分布(二)……………夏 見 寛 治 (二五)

伯林だより(ペンク教授の近況)……………理學士 寺 田 貞 次 (二四)

地理教材としての地形圖(十三)……十和田湖……………(二五)

談 叢

中世風流踊の名殘……………鶴岡學人 (二五)

講 話

朝鮮地名の考説 (二) 理學士 中村新太郎 (二六)

雜 報

○混鐵隕石大富號

○人造絹糸

○雲南のハム

○上海罷市と總會社の損害

○鑛物科本試驗問題

○莫斯科經由倫敦行旅程

○暹羅產木材

○隴海線徐州海州間開通

○鑛物科豫備試驗問題

新刊紹介

○英領東阿弗利加事情

○温泉の研究

○河の自然現象

○大日本國勢地理

質疑應答

ラプラス星雲説

那須火山帶

萬國緯度變化觀測所

耐火粘土

前號(第四卷第一號)要目

圖版

第一版 日本海等深圖
第二版 但北地震漆村砂丘の沈海と田結の斷層
第三版 但北地震々害分布圖

但北地震踏査記 理學士 石川成章 理學士 本間不二男
理學士 横山次郎 理學士 上河善雄

一、踏査日程 二、地震現象 三、海水面の異常

四、地下水の異常 五、崩 壞 六、道路及田圃の龜裂
七、石燈籠の顛倒及廻轉 八、家屋の被害 九、被害の程度

阿波の隆起海岸……………文學士 小 牧 實 繁

エミルアルガン氏……………理學博士 小 川 琢 治

亞細亞構造論……………理學博士 小 川 琢 治

日本近海の深さ(二)……………夏 見 寬 治

世界に於ける魔術の分布(一)……………愛 山 生

立 山……………愛 山 生

地理教材としての地形圖(十二)槍ヶ岳附近……………

談 叢 紀伊水道津浪の古記録(一)……………如舟老人

講 話 朝鮮地名の考説(一)……………理學士 中村新太郎

雜 報 新刊紹介

質疑應答

第三卷 總目錄……………

前々號(第三卷第六號)要目

圖版第十一……………遠江掛川附近地質圖……………

遠江掛川附近第三紀層の層序 理學士 横山次郎

山陰道特に鳥取縣の溫泉に就て……………理學士 石川成章

中國地方の鍛刀工業……………理學博士 小川琢治

(刀劍の地理的研究第三稿)……………

阿波國勝浦郡羽ノ浦町附近のオルビトリーナ石灰……………理學士 江原眞伍

岩とイノセラムス層……………

日本近海の深さ(一)……………

北樺太採集記(上)……………玉貫光一

地理教材としての地形圖(松本附近)……………

談 叢 朴 刀(水滸傳の地理四)……………如舟老人

講 話 地球を構成する物……………理學博士 松原 厚

質と其の分布(五)……………

雜 報 新刊紹介

質疑應答

第三卷 總目錄……………

地球學團規約

- 第一條 本學團を地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川邊分町京都帝國大學地質學教室内に置く。又會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 雜誌並に圖書の刊行
 講演並に講習會の開催
 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納する事。
- 第六條 本學團員になりた人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を、發行所へ送金する事。
- 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知する事。

註文規定

- ① 購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- ② 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- ③ 振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五番三九三番東京三九三番)内外出版株式會社宛に願上候
- ④ 前金切れの場合に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ⑤ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券差額御送付下され度候

價定

一册	定價金五十錢	郵税金貳錢
六册(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二册(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料

一頁 金五拾圓 半頁は取扱不申

大正十四年七月廿五日印刷納本
 大正十四年八月一日發行

第四卷
 第四號

不許複製
 禁轉載

編輯者 地球學團

右代表者 藤田元春

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 田中一郎

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

本社 京都市下京區西洞院通七條南
 出張所 京都市京橋區加賀町十番地
 販賣所 京都市神田區錦町一十九

振替口座 大阪三二九五番
 東京三九三番

内外出版株式會社

所捌賣

東京 東海堂
 大阪 文誠堂
 京都 寶文館
 神戶 共盛社
 京都 共盛社
 名古屋 マガジン

東京 東海堂
 大阪 文誠堂
 京都 寶文館
 神戶 共盛社
 京都 共盛社
 名古屋 マガジン

川瀨書店

CHIKYŪ-THE GLOBE

Vol. IV. No. 2.

August, 1925

- Pl. IV. The Northern Tajima Earthquake (2).
a. The Inlet of Tsuiyama.
b. Tai, Kinoshiki-gōri, Tajima.
- Pl. IV. Spitzbergen — a. Mount Tempel.
b. Wahlenberg Glacier.

A tectonic Interpretation of Earthquake Phenomena in Eastern Asia (1).....	
By T. Ogawa, <i>R. H.</i>	103
Fossil Zones of Cretaceous Trigonina-Sandstone in Japan.....	
By H. Yabe. <i>R. H.</i>	122
Spitzbergen.....	By K. Inouye, <i>R. H.</i>126
Distribution of Magic in the World (2).....	
By K. Natsumi.....	145
Geography in Berlin University.....	
By T. Terada, <i>B. S.</i>	149
Topographical Maps recommended for Schools (13).....	153
Religious Dance kept in Rural Districts.....	
By M. F., <i>B. S.</i>	158

Place Names of Korea (2).....

By S. Nakamura, *R. S.*.....162

Geographical Notes—New Books—Inquiries

Chikyū Gakudan

Kyōto.

(欽定十三經註疏)欽定四庫全書